

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物はすべて可燃性である。【 】
- (2) 粉じん爆発のおそれがある場合、常時空気を対流させておく。【 】
- (3) 赤リンの火災では水による消火が有効である。【 】
- (4) 三硫化リンは五硫化リン、七硫化リンと比較して融点が高い。【 】
- (5) 赤リンの燃焼によって生じる物体は有毒である。【 】
- (6) 赤リンは、粉じん爆発のおそれはない。【 】
- (7) 硫黄は融点まで加熱すると発火する。【 】
- (8) 硫黄にはいくつかの同素体が存在する。【 】
- (9) 硫黄が燃焼すると、有毒ガスを発生する。【 】
- (10) 鉄粉は湿気により発熱することがあるので、湿気を避ける。【 】
- (11) 鉄粉は分解燃焼する。【 】
- (12) アルミニウム粉は塩素中で発火するおそれがある。【 】
- (13) 亜鉛粉は軽金属に属する。【 】
- (14) マグネシウム粉の酸化被膜は、酸化を更に促進する。【 】
- (15) 固形アルコールの比重は1より大きい。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物はすべて可燃性である。 【○】
第2類の危険物は可燃性固体である。
- (2) 粉じん爆発のおそれがある場合、常時空気を対流させておく。 【×】
対流ではなく、換気。
- (3) 赤リンの火災では水による消火が有効である。 【○】
水による消火が有効である。
- (4) 三硫化リンは五硫化リン、七硫化リンと比較して融点が高い。 【○】
三硫化リンは五硫化リン、七硫化リンよりも融点が高い。
- (5) 赤リンの燃焼によって生じる物体は有毒である。 【○】
燃焼すると、有毒なリン酸化物が生じる。
- (6) 赤リンは、粉じん爆発のおそれはない。 【×】
粉じん爆発のおそれがある。
- (7) 硫黄は融点まで加熱すると発火する。 【×】
発火点は融点よりも高い。
- (8) 硫黄にはいくつかの同素体が存在する。 【○】
同素体が存在する。
- (9) 硫黄が燃焼すると、有毒ガスを発生する。 【○】
有毒な二酸化硫黄を発生する。
- (10) 鉄粉は湿気により発熱することがあるので、湿気を避ける。 【○】
湿気を避ける。
- (11) 鉄粉は分解燃焼する。 【×】
鉄粉は表面燃焼する。
- (12) アルミニウム粉は塩素中で発火するおそれがある。 【○】
酸化力の強いハロゲン元素と反応する。
- (13) 亜鉛粉は軽金属に属する。 【×】
軽金属に属さない。
- (14) マグネシウム粉の酸化被膜は、酸化を更に促進する。 【×】
酸化被膜が形成されると、酸化は進行しなくなる。
- (15) 固形アルコールの比重は1より大きい。 【×】
比重は約0.8で、1より小さい。